

普遍教育情報リテラシー科目「情報処理」における附属図書館の授業支援について

<授業概要>

附属図書館職員が「情報処理」授業の 1 コマあるいは 2 コマで、実習授業を行う。大学での学習・研究に必要な図書や雑誌論文など文献資料の検索および入手方法について学習するとともに、レポート・論文作成に必要な著作権の知識（出典の表示）についても学習する。

内容は、教科書の『新しい大学情報リテラシー』千葉大学情報処理教科書編集委員会編（オーム社、2006）の第 2 章「情報の収集」に準拠。平成 28 年度も 27 年度同様に Moodle の利用を予定している。

<授業方法>

授業は第 1 回で主な内容を満たしており、全 1 回で申込可能です。第 2 回は、復習、補足的な内容とします。

➤ 第 1 回：情報の収集

DVD「情報の達人」（日本図書館協会監修、紀伊國屋書店発売、2007）を教材として使用し、下記の学習内容を説明と演習を組み合わせて行う。講義の最後に課題を出題する。

➤ 第 2 回：レポート作成の基礎

課題の解説と補足説明をし、DVD「情報の達人」を教材として、レポート作成の流れ、引用、参考文献の書き方について講義する。

<学習内容>（添付資料 1）

➤ 図書館の利用案内

図書館の資料（本・雑誌・新聞等）、サービス（貸出、予約、レファレンス、他大学図書館からの資料取寄せ・他大学図書館の訪問利用）、千葉大学附属図書館ウェブサイト紹介

➤ データベース検索演習

千葉大学蔵書検索 OPAC、総合図書情報検索 Webcat Plus、千葉県内図書館横断検索、国内雑誌論文検索 CiNii Articles、辞書・事典・知識 DB JapanKnowledge、読売新聞記事 DB ヨミダス文書館、朝日新聞記事 DB 聞蔵 II、統計検索 電子政府の総合窓口、電子ブック等

➤ レポート・論文作成の知識

レポート・論文作成のステップとポイント、出典の表示（著作権、引用の仕方、参考文献の書き方）
*2 回目がある場合は、より詳細に。

➤ 課題提出

与えられたテーマについて図書・雑誌論文の情報を収集し文献リストを作成する
*2 回目がある場合は課題の解説を行う。

<平成 27 年度の実績>

26 クラスで実施。2 回セットが 17 クラス。受講生は延べ 3432 名。

< 申込方法 >

申込期日：4月15日（金）

日程、回数についてご希望に添えない場合もございますがご了承ください。

(1) Web フォーマットによる申込方法

アカデミック・リンク・センターの「ガイダンス・講習会」のページからお申込みください。

<http://alc.chiba-u.jp/guidance.html>

The screenshot shows the Academic Link website interface. The main content area is titled 'ガイダンス・講習会'. There are two main sections: '申込制授業ガイダンス' and '普遍教育情報リテラシー科目「情報処理」における授業支援'. A red dashed box highlights the link '申込フォーム (学内限定)' in the bottom right corner, with a red arrow pointing to it from a red box labeled '申込フォーム'.

普遍教育情報リテラシー科目「情報処理」における授業支援 ⇒ 申込フォーム（添付資料 2）

* 学内 LAN からのみ利用できます。

(2) メールによる申込方法

- 申込先 e-mail：fbe2262@office.chiba-u.jp

* 日程調整を確実にを行うために、電話での申込や、担当教員ご本人以外の方による申込はご遠慮ください。

- 申込時必要項目：

1. 担当者名・所属・連絡先
2. 授業回数（1回/2回）
3. 課題提出先メールアドレス
4. 授業希望日・曜日・時限（第3希望まで書いてください）
5. 受講生の学部（学科）・人数
6. TA等授業補助をお願いできる方の人数
7. テキスト「新しい大学情報リテラシー」を利用しているか
8. Moodle を利用しているか

お問合せ先：附属図書館利用支援企画課アカデミック・リンクグループ
内線（2262）メールアドレス fbe2262@office.chiba-u.jp